

会 議 録

会議の名称	令和 7 年度 第 1 回 飯塚市上下水道事業経営審議会
開催日時	令和 7 年 10 月 2 日（木）14：00 ～ 16：00
開催場所	飯塚市役所 穂波庁舎 2 階 202 会議室
出席委員	青柳委員、家入委員、入江委員、佐藤委員、鳥越委員、馬奈木委員
欠席委員	麻生委員、河委員
事務局職員	石田慎二企業管理者、今仁康企業局次長、手柴弘美企業管理課長、大庭宗嗣上水道課長、西岡真結下水道課長、永末良一上水道課長補佐、渡邊勉上水道課長補佐、大谷剛下水道課長補佐、本松克俊企業管理課長補佐、生山真希企業管理課財務係長、高橋秀太企業管理課経営係主任
会議内容	議題 1 令和 6 年度水道事業等の決算について 議題 2 経営戦略の進捗管理について 議題 3 飯塚市上下水道事業の概要と現状分析
会議資料	資料-1 「令和 6 年度企業局の決算について」及び参考資料 資料-2 令和 6 年度飯塚市公営企業会計決算書 資料-3 令和 6 年度飯塚市公営企業会計決算資料 資料-4 「経営戦略進捗状況報告書（水道事業）」及び参考資料 資料-5 「経営戦略進捗状況報告書（下水道事業）」及び参考資料 資料-6 今後のスケジュールについて 資料-7 飯塚市上下水道事業の概要と現状分析 資料-8 参考資料
公開・非公開 の別	1 公開 2 一部公開 3 非公開 (傍聴者 0 人)
その他	

会議内容

1 議事

(1) 令和6年度水道事業等の決算について

○事務局より各事業（上水、工水、下水）について、資料 1～3 を用いて説明

●水道事業

意見等なし

●工業用水道事業

意見等なし

●下水道事業

意見等なし

(2) 経営戦略の進捗管理について

○事務局より各事業（上水、下水）について、資料 4～5 を用いて説明

●水道事業

(委員)有収率について、飯塚市は全国平均に比べて低い状態ということで、資料から試算すると1ポイント上昇すれば収益が約2,700～2,800万円増加する計算になると思っていて、現状の85%を全国平均まで上昇させると1億円程度収益が増加すると思われる。例えば、タンクの場所は色々あると思うが、場所によって有収率は違うと思っている。このデータは持っているか。先に幹線について更新を進めているという話だったと思うが、タンクごとにその地域で有収率の高い低い分析ができると思っていて、有収率が低いところを中心に更新を進める等の見直しを行ってはどうか。また、水を運ぶという性質上有収率が100%というのは現実的に難しいと思うが、企業局として理想とする有収率はあるか。

(事務局)配水池別の有収率のデータは作成している。有収率の低い地区については優先して漏水調査を行っている。

(委員)お金を使って作った水、所謂商品が売れない、要は自然に還っているという状況が非常にもったいないという考えができると思う。水を運ぶという点において確実にロスが発生すると思うが、それを抑えるというのは非常に大切だと思う。有収率が低い地域に至っては穿った見方をすると盗水等が発生しているとも考えられる。

(管理者)委員がおっしゃるように、有収率を上げるというのは水道事業者として重要な課題と認識している。有収率が低い一番の理由は管路の老朽化による漏水であり、火事等が発生した際に消火栓からの水を使用する等の要因もあり有収率を100%にすることは難しいかもしれないが、明確な数値目標はないものの、水道管全てが法定耐用年数内で更新され、全く漏水させないことが理想である。なお、盗水等は発生していない。

また、現状は年間6億円という予算の範囲内で実施しなければならぬため、現状は大規模な断水を防ぐ目的で重要給水施設へつながる管路の更新を優先的に行っているが、只今ご意見をいただいたので、今後の見直しについては委員の皆様からの様々な意見をいただきながら進めていきたいと考えている。

●下水道事業
意見等なし

(3) 飯塚市上下水道事業の概要と現状分析

○事務局より、今後の審議スケジュール及び各事業（上水、下水）について、資料6～7を用いて説明

今後の経営戦略の見直し等の審議について、承認

●水道事業
意見等なし

●下水道事業
意見等なし

(4) その他

○次回の開催日程について調整

以上